



今井小だより

横浜市立今井小学校
令和5年2月28日
学校だより 3月号

学校教育目標 : か が や い て い る 子 「自分大好き!今井大好き!」

春に

学校長 松永 史郎

「三寒四温」とは正に言い得て妙、寒い日と暖かい日が交互に訪れ、少しずつ春を実感できるようになってまいりました。

今井小学校に着任して、もうすぐ一年が過ぎようとしています。今年度も感染拡大対策を実施しながら「できることをできる形で」を念頭に、制限がある中ではありましたが、何とか宿泊学習や校外学習、運動会、授業参観、各種音楽会や発表会など多くの行事の実施・参加を実現できました。学校評価アンケートでもそのことについて肯定的に捉えたご意見をいただき、教職員一同、配慮や工夫をしながらの取組について認めていただいたことをたいへんうれしく思っています。卒業式でのマスク着用条件緩和などと同様に、新年度は、さらに様々な制限が段階的に緩和され、よりダイナミックな形で教育活動を行えるようになることを願って止みません。

さて、感染拡大対策とは違った観点から、今年度に引き続き来年度も、今井小の子どもたちがより豊かに安心して学校生活を過ごせるような改善を実施してまいります。詳細は後日別途それぞれのお知らせをご覧ください。ととして、何点か概要をお知らせします。

① 児童数減少に伴う組織など改変

4月に入学する新1年生は現状30名以下で1クラスの見込みです。このような状況がしばらく続き、児童数・学級数は毎年減っていきそうです。学級数が減れば教職員も減っていくため、これまでのように各学年2クラス前提での教育活動はすぐに立ちゆかなくなります。そこで、教職員組織の改善や少人数をメリットにできるような教育活動の改善に取り組んでまいります。

② 日課表の見直し

今年度まで、最も遅い日の下校時刻（高学年）が15:45となっていました。これでは実際に家に着くのが16時半近くになり冬はもう暗くなりかけています。また、放課後の余暇時間のゆとりが無いために、子どもたちが分刻みのタイトなスケジュールで行動している様子も見られました。そこで、必要な授業時間数をしっかり確保した上で、4月からはどんなに遅い日でも15時には下校できるように日課表を改善します。これにより、教員が翌日の授業準備をする時間のゆとりも生まれるため、学習の質の充実も図っていきます。

③ 登校班の改善

P T A アンケート実施結果から、これまで本校で実施してきた集団登校について一定の評価をいただいていることがわかりました。一方で、来年度の登校班編成を行う中で、児童数減少のために、今後これまでのような編成を行うことが難しくなる班（人数激減、リーダー不在など）があることがわかりました。また、安全の観点からは、防犯上のメリットとともに、集団登校時の交通事故で被害が大きくなってしまふ等のデメリットもあります。そこで、来年度は1年間を集団登校と自主登校の期間に分けることにしました。新学期1年生が登校になれるまでの間、夏休み明け、冬休み明けしばらくの間を集団登校とし、残りの期間を自主登校とします。自主登校期間は、各ご家庭の判断で、可能な場合はひとりで登校しても良いし、集団登校継続やもう少し小回りのきくご近所の友達といっしょの登校も考えられます。いずれにしても、来年度は両方の形を経験できるので、それにより今後の方向性を見極めたいと考えています。

皆様には、一年間、本校の教育活動に多大なご理解とご協力をいただきありがとうございました。新年度もどうぞよろしくお願いいたします。